

科目名	ビークルメンテナンス実習	(実習科目)	(専門、必須)
実施時期	自動車整備科	2学年	後期
単位数	2 単位 [履修時間数 50 / 1時間=90分]		
担当者名	山内 健輔/増井 一浩/岡田 充生/土屋 邦祐/宇井 崇志 (実務経験有)		
実務経験内容	自動車整備士として自動車整備工場で自動車の点検、車検、整備、故障診断等に従事		
講義概要	これまでの実習を通して得た技術を更に高める為、新機構や特殊機構についての知識及び整備技術を習得する。また、実作業において重要である定期点検及び整備多頻度作業についても確実に実施できる技術を身につけることを目的とする。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・2年間の学習で得た知識や技術を活かし、新機構や特殊機構に対応できる ・定期点検や整備多頻度作業においては、就職してから自信を持って作業ができる 		

1-1. 授業計画

作成年月[R 6. 1]

回数	形態		テ ー マ	内 容
	講義	実習		
1		○	ロータリ・エンジン	概要、作動原理、基本構造 4サイクル・エンジンとの比較(吸～圧～燃～排)
2		○	ロータリ・エンジン	ロータリ・エンジン分解
3		○	ロータリ・エンジン	ロータリ・エンジン各部品の名称確認、役割、作動確認 レシプロ・エンジンとの比較
4		○	ロータリ・エンジン	ロータリ・エンジン組み立て
5		○	ロータリ・エンジン	ロータリ・エンジン組み立て
6		○	ロータリ・エンジン	科目認定試験①
7		○	接客応対	接客応対業務の必要性
8		○	接客応対	問診について 定期点検記録簿の作成
9		○	接客応対	受付ロールプレイング演習
10		○	接客応対	納車、引渡し時ロールプレイング演習
11		○	接客応対	受付、納車、引渡し時ロールプレイング確認演習
12		○	接客応対	科目認定試験②
13		○	多頻度作業	1年点検(乗用) 2年点検(乗用)
14		○	多頻度作業	ブレーキ・キャリパの分解、組み立て、エア抜き ホイール・シリンダの分解、組み立て、エア抜き
15		○	多頻度作業	ワイパー・ゴムの交換、各種オイル交換 警告灯について、シャシ・ダイナモ・テスタ測定

回数	形態		テーマ	内容
	講義	実習		
16		○	多頻度作業	ハイブリッド車の点検整備 故障診断器を使用した診断
17		○	多頻度作業	ハイブリッド車の点検整備 ブレーキのエア抜き、インバータの冷却水の交換方法
18		○	多頻度作業	科目認定試験③
19		○	ASV	先進安全自動車概要 衝突被害軽減ブレーキ
20		○	ASV	ACC、ESC 車線逸脱防止支援システム
21		○	ASV	駐車支援機能 ドライバー異常時対応システム
22		○	ASV	エーミング作業
23		○	ASV	エーミング作業
24		○	ASV	エーミング作業
25		○	ASV	科目認定試験④

2. 教科書、配布物

日本自動車整備振興会連合会発行	二級ガソリン自動車 エンジン編
日本自動車整備振興会連合会発行	二級ディーゼル自動車 エンジン編
日本自動車整備振興会連合会発行	二級自動車シャシ
日本自動車整備振興会連合会発行	法令教材
日本自動車整備振興会連合会発行	自動車定期点検整備の手引き
本校作成資料	

3. 教材、教具

教材車両、エンジン単体、単体部品、外部診断器、自動車検査機器
サーキット・テスタ、オシロスコープ、エーミング作業ツール

4. 評価方法

科目認定試験①～④各20点、計80点、レポート各分野5点、計20点の
合計100点とし、60点以上を合格とする。

5. 履修に当たっての留意点等

- 外部診断器の取り扱い
- 自動車検査機器の取り扱い
- サーキット・テスタの取り扱い
- オシロスコープの取り扱い
- エーミング作業ツールの取り扱い